

2025. 07. 08.

「防犯のお話」(平戸地区の近況について)



1. 戸塚区の刑法犯認知状況(令和4年～令和7年)

(件数、前年比)

	令和4年	令和5年	令和6年	※令和7年
凶悪犯	5 (100.4%)	17 (340.0%)	9 (52.9%)	4
粗暴犯	59 (137.2%)	76 (128.8%)	63 (82.9%)	33
窃盗犯	658 (95.2%)	627 (95.3%)	698 (111.3%)	286
知能犯	116 (107.0%)	74 (63.8%)	107 (144.6%)	67
風俗犯	8 (57.8%)	18 (225.0%)	19 (100.5%)	10
その他	66 (94.2%)	64 (97.0%)	70 (109.3%)	26
計	912 (109.4%)	874 (95.8%)	966 (110.5%)	426

※令和7年は1月から5月までの暫定数

(神奈川県警「神奈川県内刑法犯罪名別市区町村別認知件数」)より

2. 戸塚区の特殊詐欺認知件数及び金額(令和3年～令和7年)

件数、金額(千円)、前年比)

令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
58 (93.5%) 108,490 (80.2%)	99 (170.6%) 235,060 (216.6%)	59 (59.6%) 100,400 (42.7%)	82 (140.0%) 172,919 (172.2%)	37 176,400

※令和7年は1月から5月までの暫定数

「戸塚警察署「刑法犯発生状況(月別集計/暫定値による)」

①刑法犯の認知件数は令和5年にはわずかに減少したものの、令和6年には増加に転じ、令和7年も更なる増加が予想される

②特に、特殊詐欺の増加が著しく、被害金額は既に昨年を上回っている。また現時点での1件当たりの被害金額も昨年より大幅に増加している。

3. 戸塚区の状況(令和4年～令和6年)

(1) 戸塚区における刑法犯の発生件数が多い地区

① 戸塚町 ② 品濃町 ③ 川上町

(2) 戸塚区における刑法犯の発生件数が少ない地区

① 上品濃 ② 秋葉町 ③ 影取町

- (3) 平戸地区における発生件数は、戸塚区28町のうち、概ね上位8位（平戸町）、9位（平戸1～5）に位置している。

4. 平戸地区の3年間の状況と傾向（「別表」参照）

- (1) 凶悪犯（強盗・放火等）の発生はなく、粗暴犯（傷害・暴行・恐喝等）は5件発生している。

令和（平成3年3月、平戸4丁目で路上強盗事件があり、これをきっかけに「電電戸塚団地自治会」では防犯カメラを設置）

- (2) 件数が多い犯罪

① 振り込め詐欺 19件 ② 器物損壊 13件 ③ 自転車盗 11件

- (3) 振り込め詐欺・詐欺の被害が後を絶たない

令和4年（13件）、令和5年（8件）、令和6年（3件）、令和7年（1月～5月）（6件）



- (4) その他

- ① 不審者の訪問（屋根の修理、不用品の買い取り、ガス・水道・下水道の工事の連絡、近所の工事の挨拶、分電盤の点検等を理由にした不審者の訪問等）

- ② 東京電力やNTTの名を騙って電気料金が未払い・電話が使えなくなると脅して特定の番号に架電するよう誘導する電話

- ④ 平戸地区で発生した女性・子どもに対する声掛け、ちかん行為等の事（過去3年間の件数）

	平戸町	平戸1～5	計
痴漢	2	4	6
公然わいせつ	4	6	10
声かけ	3	2	5
不審者。つきまとい	0	2	2
計	9	14	23

（ピーガルくん安全メール、防犯情報メール）

5. 「安全・安心なまちづくり」のために

匿名・流動型犯罪やいわゆる「闇バイト」の横行、警察官・裁判所・税務署等の名を騙って恐怖心を煽り金銭を要求する特殊詐欺の増加等、犯罪の手口はますます巧妙化、悪質化してきており、また白昼の侵入強盗等凶悪な手口の犯罪が増えている。

- (1) 個人としての防犯対策をしっかりと。
・犯罪のパターンに応じて日常生活で出来る防犯対策を行うこと。

- (2) 街をきれいにすること（ごみの処理がきちんとされている）。

(3) 安全対策ができている（暗がりをなくし防犯灯、防犯カメラ等防犯設備を備える）。

(4) 人の繋がりが密であるという雰囲気を出す（情報交換や連絡網がしっかりできている）。



この地区は防犯意識が高いと感じさせる雰囲気を出すこと。



了